

環境省主催セミナーに登壇

～欧米で始まるメタン規制を見据え、日本初の保険連携型メタン検知サービスを発信～

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は、2026年6月25日に環境省が主催したセミナー「『GOSAT-GW』TANSO-3 温室効果ガス観測データ利用の未来 ～ビジネス利用拡大に向けて～」に登壇しました。

1. 背景・経緯

2025年6月に打ち上げられた温室効果ガス・水循環観測技術衛星「GOSAT-GW」による地球規模での温室効果ガス観測データは、気候変動科学のさらなる発展や、ビジネス分野での幅広い活用が期待されています。また、欧州や米国では2027年1月よりメタン排出に関する規制が本格的に導入されます。これにより、第三者機関が石油・ガス施設等の温室効果ガス排出状況を衛星データ等で監視するようになり、対象企業は詳細な書類提出や報告義務が課されることとなります。

2. 損保ジャパンの取組み

損保ジャパンは、2025年8月に日本初となる「損害保険と連携したメタン排出検知ソリューション※」の提供を開始しています。無償の「衛星画像解析リスクレポートの提供」から、有償の「高度な詳細分析」や「現地の実地調査」まで、一気通貫で提供するソリューションです。今後はGOSAT-GWの観測データを活用し、気候変動リスクに対する先進的なアプローチをさらに強化します。欧米の規制対応や温室効果ガスの削減を迫られるグローバル企業のお客さまを、リスクマネジメントの観点から強かに支援していく考えです。

※ [【日本初】損害保険と連携したメタン排出検知ソリューションの提供開始（2025年8月22日ニュースリリース）](#)

3. セミナーでの内容

当日は、パネルセッション「TANSO-3 プロダクトデータのビジネス利用拡大への期待と課題」に登壇し、幅広い分野の実務者や専門家と活発な議論を交わしました。損保ジャパンからは、既に日本初の「衛星画像分析と実測によるメタン排出検知ソリューション」を提供開始している立場から、現在の衛星データビジネスにおける活用の実態と、今後の将来展望についてお話ししました。

4. 今後について

損保ジャパンは、お客さまが企業活動を継続する上で、対応が不可欠となる気候変動対策や法規制への対応を支援し、カーボンニュートラル社会の実現に向けて貢献していきます。

<セミナー当日の様子>



つなぐ・つながる

すべての人のしあわせと、サステナブルな未来を。

以上